
SCIEX OS 3.0 ソフトウェア

ソフトウェアインストールガイド



本書は SCIEX 機器をご購入され、実際に使用されるお客様にむけてのものです。本書の著作権は保護されています。本書および本書の一部分を複製することは、SCIEX が書面で合意した場合を除いて固く禁止されています。

本書に記載されているソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供されています。使用許諾契約書で特に許可されている場合を除き、いかなる媒体でもソフトウェアを複製、変更、または配布することは法律で禁止されています。さらに、使用許諾契約書では、ソフトウェアを逆アセンブル、リバースエンジニアリング、または逆コンパイルすることをいかなる目的でも禁止することがあります。正当とする根拠は文書中に規定されているとおりです。

本書の一部は、他の製造業者および/またはその製品を参照することがあります。これらには、その名称を商標として登録しているおよび/またはそれぞれの所有者の商標として機能している部分を含む場合があります。そのような使用は、機器への組み込みのため SCIEX により供給された製造業者の製品を指定することのみを目的としており、その権利および/またはライセンスの使用を含む、または第三者に対しこれらの製造業者名および/または製品名の商標利用を許可するものではありません。

SCIEX の保証は販売またはライセンス供与の時点で提供される明示的保証に限定されており、また SCIEX の唯一かつ独占的な表明、保証および義務とされています。SCIEX は、明示的・黙示的を問わず、制定法若しくは別の法律、または取引の過程または商慣習から生じるかどうかに関わらず、特定の目的のための市場性または適合性の保証を含むがこれらに限定されない、他のいかなる種類の保証も行いません。これらのすべては明示的に放棄されており、購買者による使用またはそれから生じる不測の事態に起因する間接的・派生的損害を含め、一切の責任または偶発債務を負わないものとします。

研究専用。診断手順には使用しないでください。

ここに記載されている商標および / または登録商標は、関連するロゴを含め、米国および / またはその他の特定の国における AB Sciex Pte. Ltd.、またはその該当する所有者の所有物です(sciex.com/trademarks をご覧ください)。

AB Sciex™ はライセンスの下で使用されています。

© 2022 年 DH Tech. Dev. Pte. Ltd.



AB Sciex Pte. Ltd.

Blk33, #04-06 Marsiling Industrial Estate Road 3

Woodlands Central Industrial Estate, Singapore 739256

目次

第 1 章：はじめに	5
インストールの前に知っておくべき重要な情報.....	5
パッチとホットフィックス.....	6
第 2 章：要件	8
取得コンピュータの要件.....	8
オペレーティングシステム要件.....	8
ネットワーク要件.....	9
ソフトウェアの要件.....	10
ライセンス要件.....	10
互換性のあるシステム.....	10
互換ソフトウェア.....	11
第 3 章：インストール方法	12
安全な場所への SCIEX OS フォルダのバックアップ.....	12
ソフトウェアのインストール.....	12
ソフトウェアのアップグレード.....	15
SCIEX OS 1.4 からのアップグレード.....	15
以前のバージョンの SCIEX OS からのアップグレード.....	17
Analyst ソフトウェアから移行.....	18
オプションの特定業種向けのアプリケーションのインストール.....	19
旧バージョンのソフトウェアへのダウングレード.....	19
SCIEX OS ソフトウェアを削除.....	19
第 4 章：管理モードの変更	21
第 5 章：MS FW Updater ユーティリティの実行	22
第 6 章：電子ライセンス	25
サーバーベースのライセンスの有効化.....	25
Activate a Node-Locked License.....	25
第 7 章：トラブルシューティング	28
インストールのトラブルシューティングのヒント.....	28
インストールのクリーンアップ.....	30
付録 A：質量分析装置のファームウェアバージョン	33

目次

付録 B : デバイスとファームウェア	34
付録 C : Windows オペレーティングシステム設定	40
Windows の更新	40
システムの復元	40
カスタマーセキュリティガイダンス: バックアップ	41
ユーザーアカウント制御の設定	41
ユーザーアカウント制御の設定 (Windows 7)	41
ユーザーアカウント制御の設定 (Windows 10)	43
地域と言語設定	44
地域と言語の設定 (Windows 7)	44
地域の設定 (Windows 10)	45
言語の設定 (Windows 10)	45
ローカル設定	46
付録 D : Windows ファイアウォールの構成	48
付録 E : 展開ツールを使用してソフトウェアをインストールする	49
付録 F : SCIEX OS ドキュメント	51
お問い合わせ先	53
お客様のトレーニング	53
オンライン学習センター	53
SCIEX サポート	53
サイバーセキュリティ	53
ドキュメント	53

本ガイドでは、SCIEX OS 3.0 ソフトウェアのインストールに関する情報と手順について説明します。本ガイドには対応している装置 / ファームウェアについての情報に加え、インストールのトラブルシューティングに関するヒントも記載しています。

ソフトウェアの新機能、機能強化、既知の問題については、ソフトウェアパッケージに付属のリリースノートを参照してください。

インストールの前に知っておくべき重要な情報

SCIEX OS をインストールまたはアップグレードをする前に本ガイドをお読みください。

注: アップグレードに先立ち SCIEX OS データフォルダを安全な場所にバックアップします。詳細な情報については、次のセクションを参照: [安全な場所への SCIEX OS フォルダのバックアップ](#)。これらのフォルダには装置設定、セキュリティデータ、メソッド、バッチなどが含まれています。

ソフトウェアのインストールを適切に完了できるように、本ガイドの手順を実施する際には必ず以下の点に注意してください。

- SCIEX OS では電子ライセンスを使用します。詳細については、次のセクションを参照: [電子ライセンス](#)。
- SCIEX OS の全バージョンで、正規のソフトウェアライセンスが必要です。これらのライセンスは新たに購入した機器に付属しているほか、SCIEX から別途購入することも可能です。現在のライセンスの有効性についてのご質問、あるいは追加ライセンスの購入については、SCIEXscieux.com/request-support 営業担当者またはテクニカルサポートまでお問い合わせください。

注: SCIEX OS のライセンスに加えて、オプションのモジュールや機能のライセンスが別途必要になる場合があります。

- SCIEX OS 3.0 データファイルは SCIEX OS の前バージョンでは開けませんが、SCIEX OS の前バージョンで取得したデータは、SCIEX OS 3.0 で開けます。
- SCIEX OS 3.0 で作成した Results Table は、SCIEX OS の前バージョンでは開けませんが、SCIEX OS の前バージョンで作成された Results Table は SCIEX OS 3.0 で開けます。
- SCIEX OS の前のバージョンでサポートされていた装置はすべて SCIEX OS 3.0 でも引き続きサポートされます。一部のデバイスでは、ファームウェアのアップグレードが必要になる場合があります。次のセクションを参照: [デバイスとファームウェア](#)。
- SCIEX OS 3.0 は、Web ダウンロード パッケージとして入手できます。DVD が必要な場合は、最寄りの販売代理店にお問い合わせください。
- Analyst または Analyst TF を実行しているコンピュータに SCIEX OS がインストールされている場合、インストールを開始する前に、ハードウェアプロファイルを非有効化し、Analyst または Analyst TF ソフトウェアを閉じます。

- SCIEX OS と他のソフトウェアアプリケーションとの互換性の詳細な情報については、次のセクションを参照: [互換ソフトウェア](#)。

パッチとホットフィックス

SCIEX OS 3.0 には、これらのパッチとホットフィックスの機能が含まれています。パッチまたはホットフィックスがインストールされている場合、それらはソフトウェアのインストール中に削除されます。

SCIEX OS 2.2

- SCIEX OS 2.2 ホットフィックス 1

SCIEX OS 2.1.6

- SCIEX OS 2.1.6 Patch for の取得の問題
- SCIEX OS 2.1.6 通信問題のパッチ
- SCIEX OS 2.1.6 速度低下の問題に対するパッチ
- SCIEX OS 2.1.6 ホットフィックス 1
- SCIEX OS 2.1.6 ホットフィックス 2

SCIEX OS 2.0.1

- SCIEX OS 2.0.1 Patch for Agilent のカスタムウェルプレート
- SCIEX OS 2.0.1 Patch for Shimadzu のプレートレイアウト

SCIEX OS 2.0

- SCIEX OS 2.0 Patch for Agilent の取得の問題
- SCIEX OS 2.0 英語以外の OS 用のパッチ

SCIEX OS 1.7

- SCIEX OS 1.7 ホットフィックス 1
- SCIEX OS 1.7 速度低下の問題に関するパッチ
- SCIEX OS 1.7 ドイツの OS に関するパッチ
- SCIEX OS 1.7 ネットワークの問題に関するパッチ
- SCIEX OS 1.7 問題の報告に関するパッチ
- SCIEX OS 1.7 速度低下の問題に関するパッチ

SCIEX OS 1.6.10

- SCIEX OS 1.6.10 ホットフィックス 1
- Echo MS システムに関する SCIEX OS 1.6.10 パッチ

SCIEX OS 1.6.2

- SCIEX OS 1.6.2 報告に関するパッチ
- SCIEX OS 1.6.2 速度低下の問題に関するパッチ

SCIEX OS 1.6.1

- SCIEX OS 1.6.1 チェックサムの問題の処理に関するパッチ

SCIEX OS 1.5

- SCIEX OS 1.5 Chemspider API 更新に関するパッチ
- SCIEX OS 1.5 Chemspider データ問題に関するパッチ
- SCIEX OS 1.5 電子署名の問題に関するパッチ
- SCIEX OS 1.5 処理の問題に関するパッチ

SCIEX OS 1.4

- SCIEX OS 1.4 のダイバータバルブの問題に対するパッチ

取得コンピュータの要件

本ソフトウェアは、次のコンピュータをサポートしています。

- SCIEX ワークステーションまたは Workstation+、以下搭載:
 - Intel Xeon W-2245 プロセッサ (8 コア、16.5 MB キャッシュ、3.9 GHz、4.7 GHz Turbo HT 16.5 MB、155W DDR4-2933、NVIDIA P400 または T400 搭載)
 - 32 GB (2 × 16 GB) DDR4 3200MHZ RDIMM ECC
 - SCIEX Workstation: 2 × 1 TB HDD (RAID1)
 - SCIEX Workstation+: 2 × 2 TB HDD (RAID1)
- SCIEX Alpha Workstation 2020 は、以下を搭載しています。
 - Intel Core I5-8500 プロセッサ (6 コア、9 MB キャッシュ、3.0 GHz、4.1 GHz ターボ、HD グラフィックス 630)
 - 32 GB (2 × 16 GB) 2666 MHz DDR4 UDIMM Non-ECC
 - 2 × 2 TB HDD (RAID1)
- Dell OptiPlex XE2 コンピュータ、下記を装備:
 - Intel Core I5-4570S プロセッサ (クアッドコア、2.90 GHz、6 MB、HD グラフィックス 4600)
 - 32 GB DDR3 1600 MHz SDRAM
 - 2 × 2 TB HDD (RAID1)

注: より新しいコンピュータモデルを使用できる場合があります。最新の情報については、最寄りの販売代理店にお問い合わせください。

取得コンピュータには、少なくとも 2 つの Ethernet ポート接続も必要です。

SCIEX OS-MQ の場合、これらのコンピュータは最低 8 GB の RAM で使用できます。

仕様の低いコンピュータは SCIEX OS 3.0 データの処理に使用できますが、データの取得には使用できません。

オペレーティングシステム要件

- オペレーティングシステム: Windows 7、64 ビットまたは Windows 10、64 ビット、HotFix 2

測定については、英語のオペレーティングシステムのみがサポートされています。処理 (SCIEX OS-Q および SCIEX OS-MQ) では、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語のオペレーティングシステムがサポートされています。

- 言語設定: 英語

-
- 地域設定: 英語、フランス語、ドイツ語
 - (推奨)システムの復元: 無効
 - Windows Updates: 通知のみ

注: SCIEX OS は、Federal Information Processing Standards (FIPS)が有効なコンピュータにインストールして使用することができません(**System cryptography: Use FIPS compliant algorithms for encryption, hashing, and signing**)。

注: すべての SCIEX コンピュータには、ローカル管理者レベルのアカウント、**abservice** が設定済みです。このアカウントは、SCIEX サービスとテクニカルサポートがシステムのインストール、サービス、サポートのために使用します。このアカウントを削除したり、無効にしたりしないでください。アカウントを削除または無効にしなければならない場合は、SCIEX アクセス用の代替プランを用意し、ローカル FSE に伝えます。

注: SCIEX から提供されていないコンピュータにインストールする場合は、.NET Framework 4.x がコンピュータにインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、インストール パッケージにある `Install/NDP472-KB4054530-x86-x64-AllOS-ENU.exe` を実行してから SCIEX OS をインストールしてください。

ネットワーク要件

ソフトウェアアップデート機能には以下の追加要件があります。

- 外部接続は、ポート 443 で HTTPS プロトコルを使用して有効になっていること。
- ファイアウォールが <https://sciexos.com> を含む SCIEX OS から AWS への送信方向の通信を許可する設定になっていること。
- Transport Layer Security (TLS) 1.2 以降がインストールされていること。

注: Windows 7 を搭載したコンピュータは、TLS のバージョンが古い場合があります。アップグレードするには、Microsoft Update KB3140245 をインストールしてください。Windows 10 には TLS 1.2 以降が含まれています。

ローカルネットワーク管理者に連絡し、上記の要件が満たされていることを確認してください。

注: ソフトウェアアップデート機能が SCIEX と通信できない場合は、ローカルネットワーク管理者に連絡して、ポート 443 が開いていること、またトランスポート層セキュリティ(TLS)1.2 がコンピュータにインストールされていることを確認してください。

注: CAC ソフトウェアは、通信に TCP ポート 63333 および 44144 を使用します。サーバーは、これらのポートでインバウンドおよびアウトバウンドのトラフィックを許可する必要があります。

このバージョンの SCIEX OS は、企業プロキシサーバー経由でのインターネット通信をサポートしていません。

ソフトウェアの要件

Analytics ワークスペースのレポート機能には、Microsoft Office 2013 または 2016 (32 ビットまたは 64 ビット) が必要です。

注: SCIEX OS は Microsoft Office 365 と互換性があります。ただし、LTSB/LTSC Windows 10 オペレーティング システムを搭載した Alpha および SCIEX ワークステーションは、Microsoft Office 365 と互換性がありません。

ライセンス要件

SCIEX OS 3.0 ソフトウェアを使用するには、SCIEX OS 3.0 ライセンスをアクティベートする必要があります。

互換性のあるシステム

以下のシステムは、SCIEX OS 3.0 と互換性があります。

表 2-1 : サポートされている質量分析装置とイオン源

質量分析装置	サポートされているイオン源
X500R QTOF または X500B QTOF システム	Turbo V イオン源
ZenoTOF 7600 システム	Turbo V イオン源 OptiFlow Turbo V イオン源
SCIEX 4500 システム	Turbo V イオン源
SCIEX 5500 システム	Turbo V イオン源 OptiFlow Turbo V イオン源
SCIEX 5500+システム	Turbo V イオン源 OptiFlow Turbo V イオン源
SCIEX 6500 システム	IonDrive Turbo V イオン源 OptiFlow Turbo V イオン源 Turbo V イオン源
SCIEX 6500+システム	IonDrive Turbo V イオン源 OptiFlow Turbo V イオン源 (Micro プローブ) Turbo V イオン源

表 2-1 : サポートされている質量分析装置とイオン源 (続き)

質量分析装置	サポートされているイオン源
SCIEX 7500 システム	OptiFlow Pro イオン源

互換ソフトウェア

以下のアプリケーションは、Windows 7 および Windows 10 オペレーティングシステム上で SCIEX OS 3.0 に対応しています。

表 2-2 : 互換ソフトウェア

ソフトウェア名称	その他の情報
Biologics Explorer ソフトウェアバージョン 1.0, 1.1	—
CloudConnect バージョン 1.7	PeakView バージョン 2.2 以降が必要です。
LibraryView ソフトウェアバージョン 1.4	SCIEX OS は、LibraryView ソフトウェアバージョン 1.0.x または 1.1 から 1.3 と共存できません。
Molecule Profiler ソフトウェアバージョン 1.2	Molecule Profiler ソフトウェアは、インストーラー パッケージの一部です。
MarkerView ソフトウェアバージョン 1.3.1	—
OneOmics スイートバージョン 3.2	PeakView バージョン 2.2 以降が必要です。
ProMassProcessor バージョン 1.0	—
StatusScope リモートモニタリングサービスのバージョン 2.2 2.2, 2.2.1, 2.2.2	—

注: SCIEX OS は、Analyst ソフトウェアバージョン 1.6.3 以降および Analyst TF ソフトウェアバージョン 1.7.1 以降と共存することもできます。

注: SCIEX OS は、Analyst ソフトウェア バージョン 1.6.2、1.6.3、または 1.7 および Analyst TF ソフトウェア バージョン 1.7.1 で作成されたデータ ファイルと互換性があります。

注: SCIEX OS は、Cliiquid または MasterView ソフトウェアと共存できません。

安全な場所への SCIEX OS フォルダのバックアップ

SCIEX OS をアップグレードする前に、ネットワークドライブや DVD などの安全な場所へフォルダをバックアップします。

- **SCIEX OS Data:**このフォルダには、すべてのメソッド、バッチ、データが含まれています。初期設定では、このフォルダは D:\SCIEX OS Data にインストールされています。
- **C:\ProgramData\SCIEX:**このフォルダにはセキュリティおよびデバイス構成データがすべて含まれています。

注: これは隠しフォルダです。表示されない場合、隠れたアイテムを表示するように File Explorer を設定します。

バックアップソフトウェアでロックされたファイルに遭遇した場合、そのファイルは無視します。

注: SCIEX OS の前バージョンに戻るには、バックアップが必要となります。バックアップがなく、SCIEX OS の前バージョンを再インストールする場合、全メソッドの再作成とセキュリティの再設定が必要となります。

既存の SCIEX OS Data フォルダの名前は変更しないでください。メソッド、バッチ、データ、Results Table へのアクセスを提供するために、SCIEX OS の新バージョンにも同じ SCIEX OS Data フォルダを使用することを推奨します。

ソフトウェアのインストール

前提条件

- SCIEX OS バージョン 3.0 ライセンスキーが利用可能であることを確認してください。ライセンスキーは、印刷されたアクティベーション証明書、または SCIEX Now からの電子メールで配布される場合があります。ライセンスキーがない場合は、SCIEX の営業担当者にお問い合わせください。
- Windows Update が進行中の場合は、更新が完了するまで待ちます。
- Windows Update 後に再起動が必要な場合は、インストールを開始する前にコンピュータを再起動してください。

注: VC++2008 SP1 MFC セキュリティ再配布可能パッケージも必要です。存在しない場合は、インストールプログラムによってインストールされます。削除しないでください。これを削除すると、ExionLC 2.0 システムを使用したときに SCIEX OS が正しく機能しなくなります。

ソフトウェアを DVD からインストールする場合は、必ず正規の SCIEX DVD からソフトウェアをインストールし、インストール後には正しいバージョンがインストールされていることを確認してください。

SCIEX OS のインストール中に、ユーザーはインストールのタイプとインストールするモジュール (Central Administrator Console (CAC)ソフトウェア、**Molecule Profiler** など)を選択します。

注: CAC ソフトウェアは、SCIEX OS インストーラーパッケージの一部です。ただし、CAC ソフトウェアと SCIEX OS を同じワークステーションにインストールすることはできません。

注: インストールプログラムは、システムの復元タスクを無効にします。

注: インストールを変更するには、SCIEX OS でデバイスを非アクティブにしてから、**Modify** オプションを使用します。次のセクションを参照: [インストールのトラブルシューティングのヒント](#)。

1. 管理者権限を持つ Windows ユーザーとしてコンピュータにログオンします。
2. すべてのアプリケーションが閉じていることを確認してください。
3. DVD からソフトウェアをインストールするには、DVD ドライブに DVD をロードします。
4. ダウンロードしたファイルからソフトウェアをインストールするには、次の手順を実行します。
 - a. 必要な.zip ファイルを SCIEX の web サイトからダウンロードします。

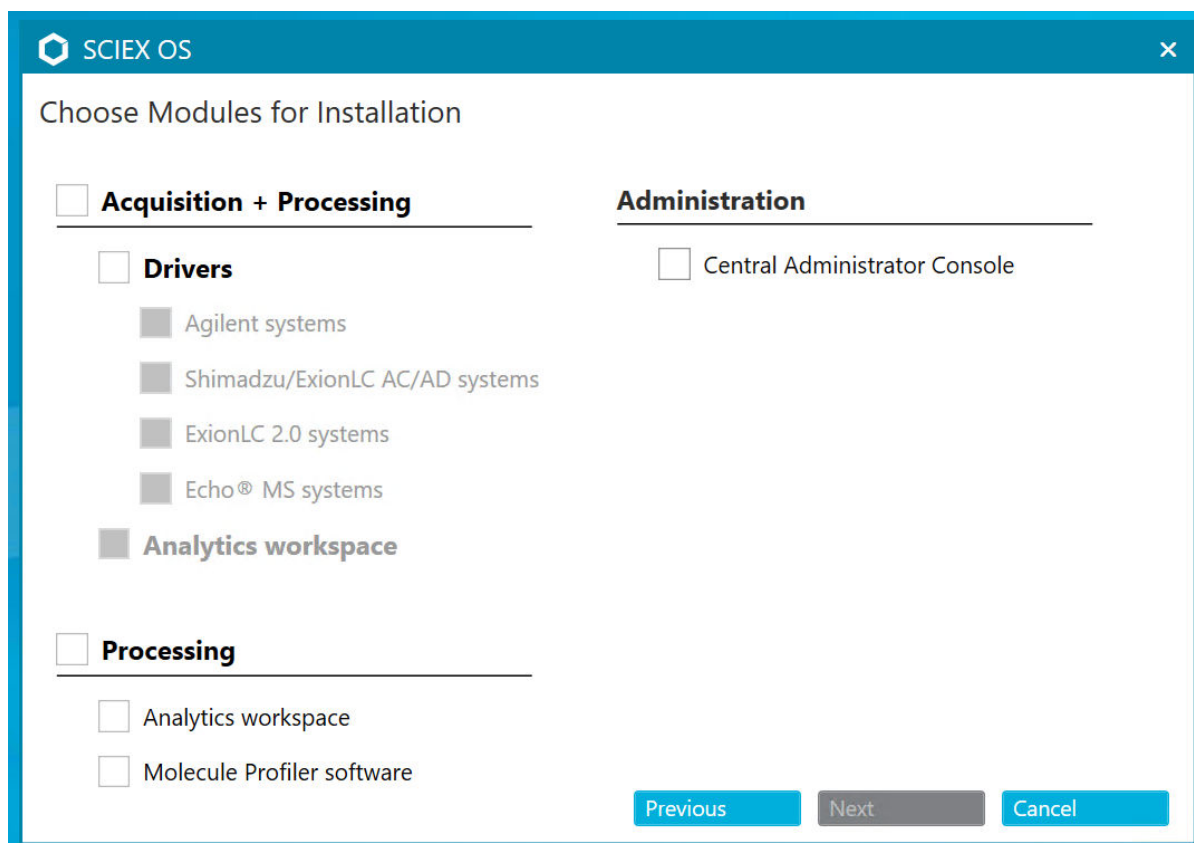
ヒント! インストール時の問題を避けるため、インストールを開始する前に、ファイルはコンピュータのデスクトップ以外の場所に保存し、外部 USB ストレージデバイスをすべて取り外してください。

- b. ダウンロードが完了したら、ダウンロードしたファイルを右クリックして **Extract All** をクリックし、インストールパッケージを展開します。
5. 取得コンピュータ: ドライバーをインストール:
 - (X500 QTOF Drivers システム: DVD またはインストールパッケージのフォルダを参照し、xTDC4_driver_v1.1.0.exe をダブルクリックしてバージョン 1.1.0 をインストールします。
 - ZenoTOF システム: DVD またはインストールパッケージの Drivers フォルダを参照し、ndigo_driver_v1.3.0.exe をダブルクリックしてバージョン 1.3.0 をインストールします。
 6. DVD またはインストールパッケージの Setup フォルダにある Setup.exe をダブルクリックします。
 7. 画面上の指示に従ってください。

インストール中に、インストールのタイプとインストールするモジュールを選択するよう求められます。

 - **Acquisition + Processing**
 - **Processing**
 - **Administration**

図 3-1 : Choose Modules for Installation



注: オプションのモジュールには個別のライセンスが必要になる場合があります。

SQL Server をインストールする必要があるため、初期設定には数分かかる場合があります。

注: インストールの問題発生を回避するため、ソフトウェアをローカルドライブにインストールします。ネットワークやリムーバブルドライブ上にインストールしないでください。

注: インストールの問題を回避するために、インストールフォルダへのパスが 118 文字以下であることを確認してください。それより長い場合、インストールは続行されません。

ヒント! .NET へのアップグレードが必要な場合、インストール中にコンピュータの再起動を求めるプロンプトが表示されます。ユーザーは、再起動をすぐに続行するか、後で再起動を延期するオプションを選択できます。ただし、再起動するまでインストールは続行されません。

8. プロンプトが表示されたら、ソフトウェアのインストール後にコンピューターを再起動します。

注: 初めてソフトウェアをインストールした後は、プロンプトが表示されなくても、再起動することをお勧めします。ソフトウェアの再インストール後、再起動は必要ありません。

9. CAC ソフトウェア: Windows ファイアウォールを構成します。次のセクションを参照: [Windows ファイアウォールの構成](#)。

Central Administrator Console (CAC)ソフトウェアでの通信には、TCP ポート 63333 および 44144 を使用します。サーバーは、これらのポートでインバウンドおよびアウトバウンドのトラフィックを許可する必要があります。

10. ソフトウェアを開きます。
11. ソフトウェアにライセンスを付与して有効化します。次のセクションを参照: [電子ライセンス](#)。

サポートされている正確な名目質量システム: SCIEX OS 3.0 ライセンスに LibraryView ソフトウェアのライセンスが含まれている場合、LibraryView ソフトウェアは別にインストールする必要があります。

注: SCIEX OS のライセンスに加えて、オプションのモジュールや機能のライセンスが別途必要になる場合があります。これらの機能を使用する前に、必ずライセンスを取得して有効化してください。

12. (必要に応じて)取得コンピュータの場合、MS FW Updater Utility を実行して、MS ファームウェアと機器設定テーブルを更新します。[MS FW Updater ユーティリティの実行および質量分析装置のファームウェアバージョン](#)。
13. 中央管理: 各 SCIEX OS コンピューターで、管理モードを **Use centralized settings** に変更し、サーバーへの接続を構成します。次のセクションを参照: [管理モードの変更](#)。

ソフトウェアのアップグレード

3.0 よりも前のバージョンの SCIEX OS からのアップグレードには、ソフトウェアの新規ライセンスが必要になります。

SCIEX OS 1.4 からのアップグレード

前提条件

- SCIEX OS ライセンスキーが利用可能であることを確認してください。対象となるお客様は、SCIEX Now の Registered Software ページで **Upgrade Software** ボタンをクリックして、アップグレードライセンスキーを取得することもできます。
- Results Table に **IF** という名前のカスタム列が含まれている場合は、列名を変更します。
- コンピュータにインストールされているすべての特定業種向けのアプリケーションのバージョンがサポートされていることを確認してください。サポートされているバージョンについては、次のセクションを参照: [互換ソフトウェア](#)。必要に応じて、SCIEX OS をアップグレードする前に、特定業種向けのアプリケーションを更新します。次のセクションを参照: [オプションの特定業種向けのアプリケーションのインストール](#)。

注: LibraryView ソフトウェアバージョン 1.4 が SCIEX OS をアップグレードする前にインストールされていることを確認してください。

- Windows Update が進行中の場合は、更新が完了するまで待ちます。
- Windows Update のアップデート後に再起動が必要な場合は、アップグレードを開始する前にコンピュータを再起動してください。

インストール方法

インストールプログラムは、このバージョンに内蔵されているパッチを警告なしで削除します。これらのサポートのリストについては、次のセクションを参照: [パッチとホットフィックス](#)。

SCIEX OS のインストール中に、ユーザーは **Molecule Profiler** や **Analytics** など、インストールするモジュールを選択します。

注: CAC ソフトウェアは、SCIEX OS インストーラーパッケージの一部です。ただし、CAC ソフトウェアと SCIEX OS を同じワークステーションにインストールすることはできません。

注: いくつかのステップは、完了するまでに時間がかかることもあります。

1. 装置を無効化してから SCIEX OS を閉じます。
 2. 他のすべてのアプリケーションが閉じていることを確認してください。
 3. C:\ProgramData\SCIEX フォルダをバックアップします。次のセクションを参照: [安全な場所への SCIEX OS フォルダのバックアップ](#)。
 4. SCIEX OS 1.4 からのアップグレードの場合: 監査証跡機能が使用されている場合、以下の手順を行ってワークステーション監査データを保存します。
 - a. フォルダ C:\ProgramData\SCIEX に移動して、Audit Data という名前のフォルダを作成します。新しいフォルダに対し、システム、ユーザー、管理者の読み取り/書き込みのアクセス権を付与します。
 - b. SCIEX OS Data\common-project-area-Audit Data に移動し、次のファイルをコピーします。
 - WorkstationAuditMap.atms
 - WorkstationAuditMapTemplates.atms
 - WorkstationAuditTrailData.atds
-
- 注: デフォルトでは、SCIEX OS Data は D:\にインストールされます。
-
- c. ファイルを C:\ProgramData\SCIEX\Audit Data に貼り付けます。
5. 管理者権限を持つ Windows ユーザーとしてコンピュータにログオンします。
 6. 取得コンピュータについては、次の手順を実行します。
 - a. 現在インストールされている SCIEX OS を開きます。
 - b. MS Tune ワークスペースを開きます。
 - c. **Positive MS Tuning** をクリックします。
 - d. 左側のパネルの **Save Tuning Settings** をクリックし、次に **Save Settings** をクリックします。
 7. SCIEX OS データフォルダのバックアップを実施します。次のセクションを参照: [安全な場所への SCIEX OS フォルダのバックアップ](#)。
 8. 次のいずれかの操作を行います。

- ソフトウェアを DVD からインストールする場合は、DVD ドライブに DVD を挿入して、手順 12 に進みます。
 - ダウンロードしたファイルからソフトウェアをインストールする場合は、手順 9 に進みます。
9. 必要な.zip ファイルを SCIEX の web サイトからダウンロードします。

ヒント! インストール時の問題を避けるため、インストールを開始する前に、ファイルはコンピュータのデスクトップ以外の場所に保存し、外部 USB ストレージデバイスをすべて取り外してください。

10. ダウンロードが完了したら、ダウンロードしたファイルを右クリックして **Extract All** をクリックし、インストールパッケージを展開します。
11. 取得コンピュータ: ドライバーをアップグレード:
- X500 QTOF システム: DVD のドライバーフォルダまたはインストールパッケージを参照して、**xTDC4_driver_v1.1.0.exe** をダブルクリックし、TDC4 ドライバーのバージョン 1.0.3 をアンインストールしてからバージョン 1.1.0 をインストールします。
12. DVD またはインストールパッケージ内の **Setup.exe** をダブルクリックします。
13. 画面上の指示に従ってください。

インストール中に、インストールするモジュールを選択するよう求められます。

SQL サーバーをインストールする必要がある場合、初期セットアップには数分かかることがあります。

ヒント! .NET へのアップグレードが必要な場合、インストール中にコンピュータの再起動を求めるプロンプトが表示されます。ユーザーは、再起動をすぐに続行するか、後で再起動を延期するオプションを選択できます。ただし、再起動するまでインストールは続行されません。

注: インストールが失敗した場合は、次のセクションの手順を実行: [インストールのクリーンアップ](#)。

14. (必要に応じて)取得コンピュータでは、MS FW アップデートユーティリティを実行して MS ファームウェアと機器設定テーブルを更新します。次のセクションを参照: [MS FW Updater ユーティリティの実行](#)。
- サポートされているファームウェアバージョンについては、次のセクションを参照: [質量分析装置のファームウェアバージョン](#)。

以前のバージョンの SCIEX OS からのアップグレード

バージョン 1.4 よりも前のバージョンの SCIEX OS からアップグレードするには、前のバージョンの SCIEX OS をアンインストールしてから新しいバージョンをインストールします。

1. 装置を無効化してから SCIEX OS を閉じます。
2. 他のすべてのアプリケーションが閉じていることを確認してください。
3. C:\ProgramData\SCIEX フォルダをバックアップします。次のセクションを参照: [安全な場所への SCIEX OS フォルダのバックアップ](#)。
4. Windows のアプリと機能のコントロールパネルで、SCIEX OS を削除します。

インストール方法

5. SCIEX OS 3.0 をインストールします。次のセクションを参照: [ソフトウェアのインストール](#)。
6. 特定業種向けのアプリケーションをアップグレードします。次のセクションを参照: [オプションの特定業種向けのアプリケーションのインストール](#) (垂直アプリケーションのアップグレードについての情報)。

Analyst ソフトウェアから移行

前提条件

- [SCIEX Now Learning Hub](#) で入手可能な *SCIEX OS eLearning* を完了します。
- 取得コンピュータが SCIEX OS の要件を満たしていることを確認してください。
- SCIEX OS ライセンスを購入します。

Analyst ソフトウェアを使用して SCIEX4500、5500、5500 +、6500、および 6500+システムからデータを取得するお客様は、SCIEX から入手できる新しい質量分析ソフトウェアである SCIEX OS にアップグレードできます。オンサイト アップグレード サービスは、SCIEX から利用できます。詳細については、営業担当者またはフィールド サービス従業員 (FSE) にお問い合わせください。

注: SCIEX は、Analyst ソフトウェアと SCIEX OS の両方を使用して同じ質量分析装置からデータを取得するワークフローをサポートしていません。

1. SCIEX OS 3.0 をインストール。次のセクションを参照: [ソフトウェアのインストール](#)。
2. Instrument Settings Converter を使用して、質量分析装置の設定を Analyst ソフトウェアから SCIEX OS にインポートします。 *Instrument Settings Converter* リリースノートのドキュメントを参照してください。

ヒント! リリースノートは、SCIEX OS インストールパッケージの `Tools\InstrumentParametersConverter` フォルダにあります。

注: SCIEX OS 3.0 インストールパッケージで配布されているバージョンの Instrument Settings Converter を使用します。

3. SCIEX OS の MS Method ワークスペースで、**Open > Convert file** をクリックします。
4. Analyst ソフトウェアで作成された MS メソッドをインポートし、SCIEX OS 形式に変換します。

注: MS メソッド情報のみが変換されます。LC メソッドは、SCIEX OS で手動で作成する必要があります。

5. SCIEX OS で転送された設定を確認して、適切であることを確認します。

ヒント! MS Tune ワークスペースの **MS Scan Tuning** 手順で **Verify MS scans** オプションを使用して、設定を確認します。インストールされている制御ソフトウェアに関わらず、予測結果は同じになります。

オプションの特定業種向けのアプリケーションのインストール

SCIEX OS をインストールした後に、下記のオプションのアプリケーションをインストールします。

- BioPharmaView ソフトウェア
- MarkerView ソフトウェア
- LibraryView ソフトウェア

注: サポートされているバージョンについては、次のセクションを参照: [互換ソフトウェア](#)。

SCIEX OS の後にアプリケーションがインストールされていない場合は、SCIEX OS をインストールしてもホームページ上にソフトウェアが表示されません。

SCIEX OS 1.3 以降をアップグレードする際は、BioPharmaView または MarkerView ソフトウェアをアップグレードする必要はありません。以前のバージョンからアップグレードする際は、それらのオプションがアップグレードされなければなりません。

注: 新しいバージョンのアプリケーションが利用可能な場合は、sciex.com/request-support に連絡してソフトウェアの互換性を確認してください。

1. SCIEX OS をインストールします。
2. SCIEX OS が閉じていることを確認してから、BioPharmaView、BPV Flex、MarkerView、または LibraryView ソフトウェアをインストールします。
3. アプリケーションのインストールの詳細な情報については、各リリースノートを参照してください。

旧バージョンのソフトウェアへのダウングレード

この手順に従って、SCIEX OS 3.0 から SCIEX OS バージョン 1.6.1 以降にダウングレードします。以前のバージョンの SCIEX OS にダウングレードするには、sciex.com/request-support にお問い合わせになり、ソフトウェアの現在のバージョンからのダウングレードについてサポートを受けてください。

1. Windows のアプリと機能のコントロールパネルで、SCIEX OS3.0 を削除します。
2. 2014 年から 2019 年までのすべての Microsoft C++再頒布可能ファイルを削除します。
3. 以前のバージョンの SCIEX OS をインストールします。

注: インストールに失敗した場合は、クリーンアップの手順を実行してください。次のセクションを参照: [インストールのクリーンアップ](#)。

SCIEX OS ソフトウェアを削除

1. 管理者権限を持つ Windows ユーザーとしてコンピュータにログオンします。
2. **Start > Control Panel > Programs and Features**.をクリックします

インストール方法

ヒント! コントロール パネル コンポーネントが **Category** で表示されている場合は **Start > Control Panel > Programs > Programs and Features > Uninstall a program.**をクリックします。

3. SCIEX OS を選択し、**アンインストール**をクリックします。

ソフトウェアが削除され、ユーザーの操作は必要ありません。

注: 製品がライセンスされている場合、ライセンスファイルは削除されず、SCIEX OS が再度インストールされた場合に使用できます。

ユーザーのローカル管理と集中管理(ロール、セキュリティ設定、プロジェクトなど)を切り替えるには、次の手順を実行します。集中管理モードでは、オプションの Central Administrator Console (CAC)ソフトウェアを使用する必要があります。

ローカル管理モードでは、ユーザーとプロジェクトを SCIEX OS で管理できます。

集中管理モードでは、SCIEX OS はローカルワークグループまたは管理ワークグループのいずれかで開くことができます。

- ローカルワークグループで開いている場合は、SCIEX OS を使用してユーザーとプロジェクトを管理できます。
 - 管理されたワークグループで開かれている場合、ユーザーは SCIEX OS で管理できず、プロジェクトを管理する機能は、CAC ソフトウェアの **Use central settings for projects** オプションによって制御されます。
1. Configuration ワークスペースを開きます。
 2. **CAC** をクリックします。
 3. プロジェクト、ユーザー、およびロールをローカルで管理するには、**Use local settings** を選択します。
 4. CAC ソフトウェアを使用してプロジェクト、ユーザー、およびロールを集中管理するには、次の手順を実行します。
 - a. **Use centralized settings** を選択します。
 - b. **Central Server Location** フィールドに、CAC ソフトウェアがインストールされているサーバーのアドレスを入力します。
 - c. **Connect** をクリックします。

注: Central Administrator Console (CAC) ソフトウェアで管理するワークグループの場合、SCIEX OS でプロジェクトを管理する機能は CAC ソフトウェアの設定で制御します。CAC ソフトウェアで **Use central settings for projects** オプションを選択している場合、Projects ページは読み取り専用になります。

5. ソフトウェアを閉じてから再度開きます。

MS FW Updater ユーティリティの実行 5

SCIEX OS では、サポートされているファームウェアバージョンが接続された質量分析装置にインストールされている必要があります。このユーティリティを使用して、質量分析装置のファームウェアバージョンをアップグレードします。

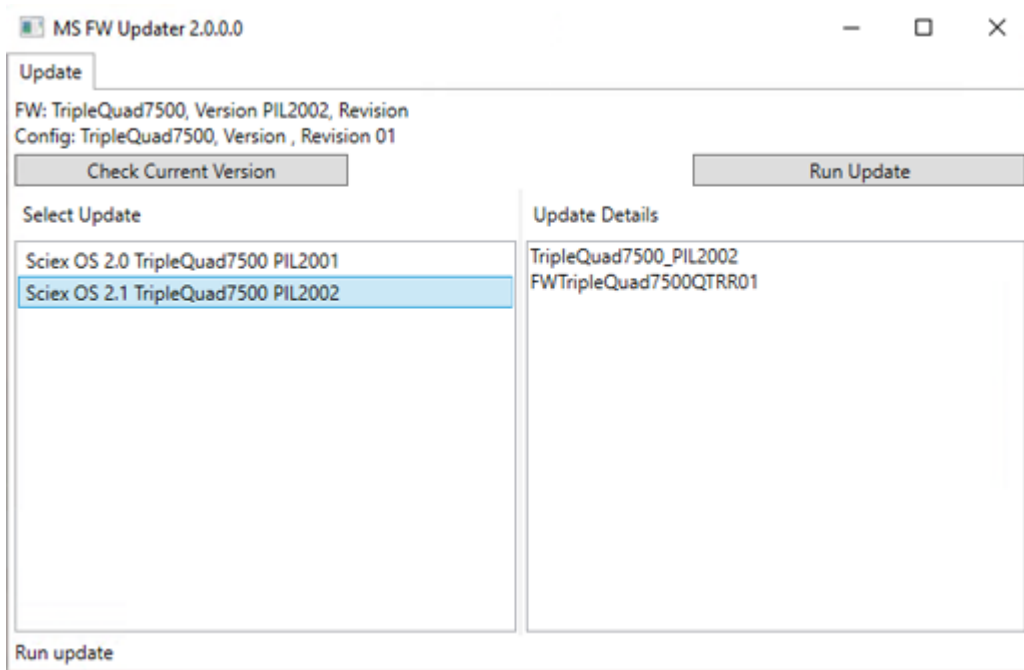
サポートのリストについては、次のセクションを参照: [質量分析装置のファームウェアバージョン](#)。

前提条件

- SCIEX OS バージョン 3.0 以降がインストールされている。
- 質量分析装置は、Devices ワークスペースでアクティブである。
- コンピュータが、質量分析装置に接続されている。
- ユーティリティの実行者が、Windows の管理者ならびに SCIEX OS ユーザーデータベースの管理者としてログインしている。

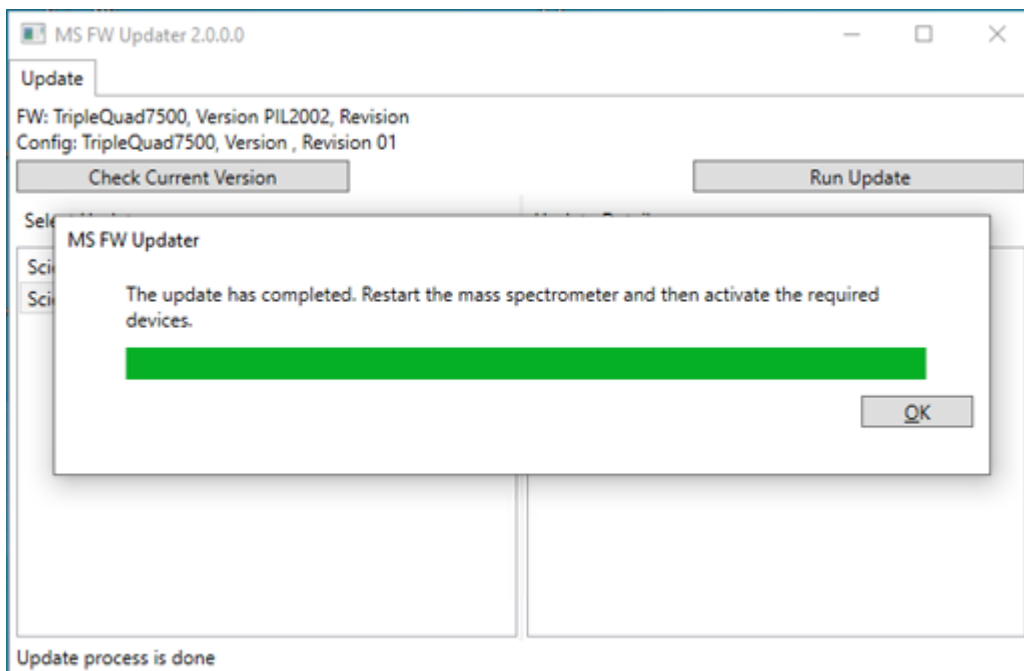
1. すべてのデータ取得を停止してから、キューをクリアします。
キューに待機中のサンプルがあってはなりません。
2. SCIEX OS を閉じます。
3. MS FW Updater ユーティリティを実行するには、SCIEX OS パッケージを抽出し、
\FirmwareUpdater\フォルダを参照して、MS FW Updater.exe をダブルクリックします。

図 5-1 : MS FW Updater ユーティリティ



4. **Select Update** リストで、質量分析装置とソフトウェアのバージョンを選択します。
5. **Run Update** をクリックして、画面に表示される指示に従います。

図 5-2 : MS FW Updater 進捗バー



6. 更新が完了したら、進捗バーの **OK** をクリックして、ユーティリティを閉じます。

MS FW Updater ユーティリティの実行

注: SCIEX OS のイベントログは、ファームウェアが正常に更新されたことを示します。

7. 30 秒待ち、質量分析装置を再起動します。次のドキュメントを参照: システムユーザーガイド。
8. SCIEX OS を開き、Configuration ワークスペースの Devices ページを開きます。質量分析装置はリストから削除されています。
9. 装置リストに質量分析装置を追加してから、必要な装置を有効化します。

MS FW Updater ユーティリティを使用して、SCIEX OS の以前のバージョンによってサポートされているファームウェアバージョンに戻すことができます。Firmware Updater ユーティリティを再度実行し、必要なバージョンを選択して **Run Update** をクリックします。

注: X500 QTOF システム: MS FW アップデータは、バージョン 1.2 より前の SCIEX OS バージョンでサポートされているファームウェアバージョンに戻すことはできません。以前のバージョンに戻すには、sciex.com/request-support にお問い合わせください。

注: SCIEX 7500 システム: MS FW Updater は、2.0 よりも前のバージョンの SCIEX OS によってサポートされているファームウェアバージョンに戻すことはできません。前のバージョンの SCIEX OS は SCIEX 7500 システムをサポートしていません。

SCIEX OS では、取得と処理ワークステーション両方のノードロックライセンスをサポートしています。ノードロックライセンスは、1 台のコンピュータでしか使用できません。サーバーベースのライセンスは、処理ワークステーションのみ対応しています。ノードベースとサーバーベースの両方のライセンスの場合、ライセンスファイル名は SCIEX OS3.0.lic です。SCIEX OS がインストールされているコンピュータの C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS フォルダにライセンスファイルをインストールします。

注: Central Administrator Console (CAC)ソフトウェアでは、ノードロックライセンスのみがサポートされています。

注: コンピュータの日時を変更する場合は、ライセンスを有効化する前に実施しないと、ソフトウェアが動作しない場合があります。

注: ライセンスファイルを変更すると、ライセンスが無効になり、回復できなくなります。

サーバーベースのライセンスの有効化

注: この手順は、Central Administrator Console (CAC)ソフトウェアには適用されません。

サーバーベースのライセンスについては、IT 部署に連絡して下記を実施してください。

1. ライセンスサーバーを設定します。

ライセンスサーバーをセットアップするには、以下のサイト: sciex.com/software-support/software-downloads の **Additional Downloads > License Server Setup** セクションにある **License Server Setup Software** へのリンクをクリックして *License-Server-Setup.zip* をダウンロードするよう、IT 部門に依頼してください。ダウンロードしたパッケージに付属している *License Server Setup Guide* の指示に従ってください。

2. クライアントコンピュータ用に SCIEX OS3.0.lic と名付けたライセンスファイルを作成します。
3. SCIEX OS がインストールされている各クライアントコンピュータに、ライセンスファイルを配布します。

Activate a Node-Locked License

前提条件

- ライセンスキーが必要です。

1. デスクトップの SCIEX OS アイコンをダブルクリックします。
SCIEX OS Activation ダイアログが開きます。

-
5. **Select Your Instrument** フィールドで、必要な情報を選択して入力します。

注: 処理ワークステーションのノードロックライセンスを有効化するには、SCIEX 機器のシリアル番号を使用します。機器のシリアル番号が利用できない場合は、SCIEX サポート (sciex.com/contact-us)にご連絡ください。

6. 別のコンピュータ上の SCIEX OS のライセンスを有効化する場合は、コンピュータ ID に、そのコンピュータをネットワークに接続するために使用するネットワークポートの MAC アドレスを入力します。ライセンスキーも入力します。
7. **Submit** をクリックします。
ライセンスファイルが添付されたメールを送信するというメッセージが表示されます。
8. 電子メールを受信したら、付属のライセンスファイルを
C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS フォルダに保存します。
9. SCIEX Now Web ページを使用して、Central Administrator Console (CAC)ソフトウェア、Molecule Profiler、Scout Triggered MRM (stMRM) などのアドオン機能のライセンスを取得してアクティブ化します。詳細については、sciex.com/request-support のテクニカル サポートにお問い合わせください。

インストールのトラブルシューティングのヒント

注: この手順のソフトウェアは、Central Administrator Console (CAC)ソフトウェアまたは SCIEX OS のいずれかです。

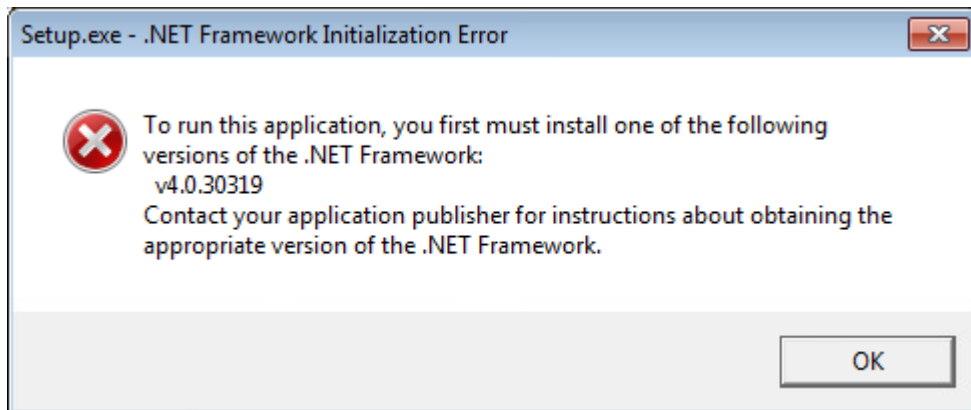
エラーメッセージ	考えられる原因	修正アクション
インストールを完了できませんでした。図 7-1 を参照してください。	コンピューターにインストールされている Microsoft Visual C++ のバージョンが、ソフトウェアと共に配布されているバージョンよりも新しいです。	Microsoft Visual C++ を削除してから、ソフトウェアを再度インストールします。 注: インストールが失敗した場合は、次のセクションの手順を実行: インストールのクリーンアップ 。
Microsoft.Practices.Prism.Regions.UpdateRegions 例外: 領域オブジェクトの作成中に例外が発生しました。	コンピューターにインストールされているこのバージョンの LibraryView Framework は、ソフトウェアと互換性がありません。	<ol style="list-style-type: none"> ソフトウェアを削除します。 LibraryView Framework を削除します。 C:\ProgramData\SCIEX の名前を C:\ProgramData\SCIEX_Removed に変更します。 ソフトウェアをインストールします。
Setup.exe - .NET Framework の初期化エラー。図 7-2 を参照してください。	NET Framework バージョン 4.x がインストールされていません。	インストールパッケージに含まれている Install/NDP472-KB4054530-x86-x64-Allos-ENU.exe を実行して、.NET Framework をインストールします。

エラーメッセージ	考えられる原因	修正アクション
インストールプログラムの Modify オプションでインストールを変更すると、ソフトウェアが起動しません。	デバイスが有効なときにソフトウェアがインストールされました。	この問題を回避するには、 Modify オプションを使用する前に、すべてのデバイスを非アクティブにします。 問題が発生した場合は、ファイルを削除します： C:\ProgramData\SCIEX\Clearcore2.Acquisition\HardwareProfile.hwp 。このファイルを削除すると、ソフトウェアは正常に開きます。

図 7-1 : インストールエラー(例)



図 7-2 : .NET Framework の初期化エラー



インストールのクリーンアップ

1. Windows アプリと機能のコントロールパネルで、次のアプリケーションが存在する場合は、この順序で削除します。

- LibraryView ソフトウェア
- SCIEX OS
- LibraryView Framework
- MongoDB
- Microsoft Access データベースエンジン
- 報告者

2. すべての SQL サーバーアプリケーションを削除します。

SCIEX OS 1.6.1 以降のバージョンでは、次のアプリケーションを削除してください。

- Microsoft SQL Server 2008 セットアップサポートファイル
- Microsoft SQL Server 2012 (64 ビット)
- Microsoft SQL Server 2012 ネイティブクライアント
- Microsoft SQL Server 2012 セットアップ(英語)
- Microsoft SQL Server 2012 Transact_SQL ScriptDom
- Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 ENU
- Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 x64 ENU
- SQL Server Browser for SCL Server 2012
- Microsoft VSS Writer for SQL Server 2012

SCIEX OS 1.5 以前のバージョンでは、次のアプリケーションを削除してください。

- Microsoft SQL Server 2008 R2 (64 ビット)
- Microsoft SQL Server 2008 R2 ネイティブクライアント

- Microsoft SQL Server 2008 R2 セットアップ(英語)
 - Microsoft SQL Server 2008 R2 セットアップファイル
 - Microsoft SQL Server Browser
 - Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 ENU
 - Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 x64 ENU
 - Microsoft SQL Server VSS Writer
3. 次のフォルダにあるすべての SQL サーバーファイルをバックアップしてから削除します。
- SCIEX OS 1.6.1 以降:
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL11.sqlexpress\MSSQL\Data
 - SCIEX OS 1.5 以前:
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL.1\MSSQL\Data または
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL10-50.sqlexpress\MSSQL\Data
4. アプリと機能のコントロールパネルで、Microsoft Windows 用の更新プログラム (KB4054590) を削除します。
これは .NET 4.7.2 です。
5. (必要に応じて) アプリと機能のコントロールパネルで、以下のソフトウェアを削除します。
- BPV Flex ソフトウェア
 - BioPharmaView ソフトウェア
 - MetabolitePilot ソフトウェア
6. 次のフォルダをバックアップしてから削除します。
- C:\Program Files\SCIEX\LibraryView
 - C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS
 - C:\SCIEX OS Data
7. 次のフォルダを削除します。
- C:\ProgramData\SCIEX
 - C:\Program Files\MongoDB
8. コンピュータを再起動します。
9. Windows サービスのコントロールパネルを開き、リストに SQL サービスまたは LibraryViewHost サービスがないことを確認します。
10. ClearCore2 サービスが Windows サービスのコントロールパネルにある場合は、コマンドプロンプトウィンドウを開き、次のコマンドを入力して、**Enter** を押します。
sc DELETE "Clearcore2.Service.exe"
11. ソフトウェアを再度インストールし、プロンプトが表示されたらコンピュータを再起動します (該当する場合)。

12. (必要に応じて)ステップ 5 で削除したソフトウェアをインストールします。

- BPV Flex ソフトウェア
- BioPharmaView ソフトウェア
- MetabolitePilot ソフトウェア

質量分析装置のファームウェアバージョン

A

質量分析装置	ファームウェアアプリケーションのバージョン	Configuration Table のバージョン
X500R QTOF システム	ATLAS_QTOF_ICX_v0_r04	CONFIG_X500R_v0_r04
X500B QTOF システム	ATLAS_QTOF_ICX_v0_r04	CONFIG_X500B_v0_r03
ZenoTOF 7600 システム	AION_QTOF_ICX64_v0_r05	CONFIG_Zeno-TOF-7600_v0_r05
SCIEX Triple Quad 4500 システム	PIL2004	FWTripleQuad4500R22
QTRAP 4500 システム	PIL2004	FWQTrap4500R21
SCIEX Triple Quad 5500 システム	PIL2004	FWTripleQuad5500R08
QTRAP 5500 システム	PIL2004	FWQTrap5500R07
SCIEX Triple Quad 5500+システム	PIL2004	FWTripleQuad5500+R02
SCIEX Triple Quad 6500 システム	PIL2004	FWTripleQuad6500R05
QTRAP 6500 システム	PIL2004	FWQTrap6500R04
SCIEX Triple Quad 6500+システム	PIL2005	FWTripleQuad6500+R04
QTRAP 6500+ システム	PIL2004	FWQTrap6500+R03.fw
SCIEX 7500 7500 システム	PIL2004	FWTripleQuad7500QTRR02

SCIEX OS 3.0 は、以下の表に記載された装置をサポートしています。

ほとんどの場合、装置メーカーからの最新ファームウェアバージョンは、SCIEX OS 3.0 に適合しています。問題が発生した場合、装置のファームウェアをこの表に記載されたバージョンに変更してください。ファームウェアの確認とアップグレードについては、装置の製造メーカーが提供するドキュメントを参照するか、SCIEX フィールドサービスエンジニア (FSE) にお問い合わせください。装置のインストールと設定については、『装置セットアップガイド』のドキュメントを参照してください。

注: Waters ACQUITY UPLC システムのドライバーについては、Waters サポートにお問い合わせください。

表 B-1 : Echo® MS システム

装置コンポーネント	ファームウェア
Echo® MS モジュール ¹	1.1.0

表 B-2 : ExionLC 2.0 システム

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア	必要な通信ケーブル
LPG Pump	LPGP-200	1.07	Ethernet
Binary Pump	BP-200	1.07	Ethernet
Binary Pump+	BP-200+	1.01	Ethernet
Autosampler	AS-200	1.22	Ethernet
Autosampler+	AS-200+	1.22	Ethernet
Column Switching (バルブ駆動)	DR-200	6.20	Ethernet
カラムオープン	CO-200	2.02	Ethernet
Multiwavelength Detector	MWD-200	1.11	Ethernet
Diode Array Detector	DAD-200	1.11	Ethernet
Diode Array Detector - HS	DADHS-200	1.24	Ethernet
Wash System	WS-200	1.14	Ethernet

¹ ファームウェアのアップグレードが必要な場合は、FSE にお問い合わせください。

表 B-3 : ExionLC AC/ExionLC AD システム

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
ExionLC Controller	3.61(2.0, 3.01, 3.40)	Ethernet
ExionLC AC Pump	5.001(2.04)	光ファイバー
ExionLC AC Autosampler	5.00(2.05, 3.12)	光ファイバー
ExionLC AC カラムオープン	3.21	光ファイバー
ExionLC AD Pump	3.30(2.04, 3.11, 3.21)	光ファイバー
ExionLC AD Autosampler	3.15(3.12)	光ファイバー
ExionLC AD Multiplate Sampler	3.30(3.15)	光ファイバー
ExionLC PDA Detector	4.02	Ethernet 注: PDA 検出器には、システムコントローラと取得コンピュータに接続するためにスイッチングハブが必要です。次のドキュメントを参照: <i>ExionLC PDA 検出器オペレータガイド</i>
ExionLC UV Detector	2.03	光ファイバー
ExionLC Rack Changer	2.0	光ファイバー
ExionLC Degasser	—	—
ExionLC Solvent Selection Valve	—	—

表 B-4 : Agilent 1290 Infinity および Infinity II の装置

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
1290 Infinity 装置			
Binary pump	G4220A	B.06.73, A.06.73, B.07.01)	Ethernet または CAN
標準オートサンプラー	G4226A	(A.07.01, A.06.54, A.07.01)	Ethernet、またはシステムに DAD が付いている場合は CAN
カラムコンパートメント	G1316C	(A.07.01, A.06.53)	CAN
DAD	G4212A	A.06.73, B.06.30	Ethernet

表 B-4 : Agilent 1290 Infinity および Infinity II の装置 (続き)

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
1290 Infinity II 装置			
高速ポンプ	G7120A	(B.07.10)	CAN または Ethernet
フレキシブルポンプ	G7104A	(B.07.10)	CAN または Ethernet
Viialsampler	G7129B	(B.07.10)	CAN
マルチサンプラー	G7167B	(D.07.17)	CAN または Ethernet
マルチカラムサーモスタット	G7116B	D.07.10	CAN
DAD	G7117B	D.07.23、D.07.10	Ethernet

表 B-5 : Agilent 1260 Infinity II 装置

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
Infinity II 装置			
フレキシブルポンプ	G7104C	(B.07.25)	Ethernet、またはシステムに DAD が付いている場合は CAN
Binary pump	G7112B	—	CAN または Ethernet
クォータナリーポンプ	G7111B	D.07.24	CAN または Ethernet
バイオイナートポンプ	G5654A	(D.07.13)	CAN または Ethernet
Viialsampler	G7129C	(D.07.26)	CAN
マルチサンプラー	G7167A	(D.07.16)	Ethernet、またはシステムに DAD が付いている場合は CAN
バイオイナートマルチサンプラー	G5668A	(D.07.16)	Ethernet、またはシステムに DAD が付いている場合は CAN
マルチカラムサーモスタット	G7116A	D.07.13、D.07.16	CAN
DAD	G7117C	D.07.10	Ethernet
DAD WR	G7115A	D.07.25	Ethernet

表 B-5 : Agilent 1260 Infinity II 装置 (続き)

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
FLD スペクトル(バイオーナー)	G7121B	D.07.25	Ethernet

表 B-6 : Shimadzu 装置

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
CBM-20 A、Ethernet スイッチ付き(システムコントローラ、8つの光ファイバーポート付き)	3.61(2.81, 3.01, 3.11, 3.31)	Ethernet
CBM-40 システムコントローラ	1.30(0.31)	Ethernet
CBM-40 Lite システムコントローラ	1.30	Ethernet
SCL-40 システムコントローラ	1.30	Ethernet
SIL-20ACXR オートサンプラー	2.05 (1.20、1.22、1.23、1.25)	光ファイバー
SIL-30AC オートサンプラー	3.12	光ファイバー
SIL-30ACMP オートサンプラー	3.21(3.15)	光ファイバー
SIL-40 オートサンプラー	1.05	光ファイバー
SIL-40C オートサンプラー	1.05	光ファイバー
SIL-40C X3 オートサンプラー	1.05(1.04)	光ファイバー
SIL-40C XR オートサンプラー	1.05(1.08)	光ファイバー
LC-20AB バイナリ溶剤供給ユニット	—	—
LC-20AD ポンプ	3.11(1.04, 1.10, 1.07)	光ファイバー
LC-20AD XR ポンプ	1.21(1.20)	光ファイバー
LC-30AD ポンプ	3.21(3.11)	光ファイバー
LC-40D ポンプ	1.06	光ファイバー
LC-40D XR ポンプ	1.06(1.04)	光ファイバー
LC-40B XR ポンプ	1.04	光ファイバー
LC-40D X3 ポンプ	1.04	光ファイバー
LC-40B X3 ポンプ	1.06(1.04)	光ファイバー

表 B-6 : Shimadzu 装置 (続き)

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
CTO-20AC カラムオープン	2.10(2.03)	光ファイバー
CTO-30A カラムオープン	3.11	光ファイバー
CTO-40C カラムオープン	1.01(1.00)	光ファイバー
CTO-40S カラムオープン	1.01(1.00)	光ファイバー
SPD-20A UV-VIS 検出器	1.04	光ファイバー
SPD-40V UV-Vis 検出器	1.06(1.04)	光ファイバー
SPD-M30A UV 検出器	3.11, 4.02	Ethernet 注: 検出器には、システムコントローラと取得コンピュータに接続するためにスイッチングハブが必要です。
SPD-M40 PDA 検出器	2.00	Ethernet 注: 検出器には、システムコントローラと取得コンピュータに接続するためにスイッチングハブが必要です。
RF-20A XS Fluorescence 検出器	2.02	光ファイバー
FCV-12AH バルブ	—	—
FCV-13AL バルブ	—	—
FCV-32AH バルブ	—	—
FCV-0206[H/H3]ドライブ付き流路切り替えバルブ	—	—
FCV-0607[H/H3]ドライブ付き流路切り替えバルブ	—	—
ドライブ付き FCV-S 流路切り替えバルブ(1 ボックス、1 バルブ)	1.02	—
ドライブ付き FCV-BOX 流路切り替えバルブ(1 ボックス、1 バルブ)	1.02	—
FCV-DR(ドライブ)	1.02	—
LPGE-40(ミキサーなし)	1.02	—

表 B-6 : Shimadzu 装置 (続き)

周辺装置	テスト済みのファームウェア(および他のファームウェア)	必要な通信ケーブル
LC-40 リザーバースイッチングバルブ	1.02	—
FCV-11ALS LC-40 用溶剤選択バルブ(1 ポンプ)	1.02	—
FCV-11AL LC-40 用溶剤選択バルブ(3 ポンプ)	1.02	—
Rack Changer II	2.0	光ファイバー
Nexera プレートチェンジャー	1.05	—

Windows オペレーティングシステム設定

C

英語のみがサポートされています。

英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語の地域がサポートされています。

注: コンピュータがインターネットに接続されている場合は、推奨されるセキュリティガイドラインに従ってください。 sciex.com/productsecurity にアクセスします。システムの機能がウイルスによって損なわれないよう、十分なウイルス保護対策が実施されていることを確認してください。

Windows の更新

重要なセキュリティパッチがインストールされていることを確認することは、コンピュータのセキュリティを維持するために不可欠です。Windows Update の設定と使用については、以下のガイドラインに従ってください。

- Windows 10: Windows Update のみを通知するように設定します。データ取得中にシステムに影響を与える可能性があるため、更新プログラムを自動的にダウンロードしてインストールしないでください。
- 通知を受け取ったら、できるだけ早く更新をダウンロードしてインストールしてください。
- 更新をインストールする際は次のことにご注意ください。
 - 取得と処理が完了するまで待ちます。
 - デバイスを非アクティブ化し、ClearCore2 サービスを停止します。
- すべての更新をインストールします。更新の結果として問題が発生した場合は、できるだけ早く sciex.com/contact-us または sciex.com/request-support で SCIEX に報告してください。

システムの復元

デフォルトでは、Windows タスク スケジューラは、深夜とコンピュータの起動時にシステムの復元タスクを実行します。インストールプログラムは、システムの復元タスクを無効にして、IDA モードでの取得パフォーマンスを最適化します。

システムの復元サービスがアクティブな場合、システムの速度が低下することがあります。IDA モードでの取得中にアクティブになると、サイクル時間が長くなり、ミリ秒から秒に増加する可能性があります。これにより、クロマトグラフィーのピーク全体でポイントが少なくなる可能性があります。そのため、最適なパフォーマンスを得るためには、システムの復元を無効にすることをお勧めします。

注: システムの復元は、通常の操作やデータ処理のパフォーマンスには影響しません。

カスタマーセキュリティガイドランス: バックアップ

顧客データのバックアップは、顧客の責任です。SCIEX のサービスおよびサポート担当者は、顧客データのバックアップに関するアドバイスや推奨事項を提供する場合がありますが、お客様のポリシー、ニーズ、規制要件に従ってデータを確実にバックアップするかどうかは、お客様次第です。顧客データのバックアップの頻度と範囲は、組織の要件および生成されるデータの重要度に応じて決定する必要があります。

バックアップはデータ管理全体の重要なコンポーネントであり、悪意のある攻撃、ハードウェア障害、またはソフトウェア障害が発生した場合の復元に不可欠であるため、お客様はバックアップが機能することを確認する必要があります。データ取得中は、コンピュータのバックアップを取得しないでください。また、取得中のファイルがバックアップソフトウェアによって無視されるようにしてください。セキュリティアップデートのインストールやコンピュータの修理を行う前に、コンピュータの完全なバックアップを作成することを強くお勧めします。これにより、セキュリティパッチがアプリケーションの機能に影響を与えるというまれなケースでも、ロールバックが容易になります。

ユーザーアカウント制御の設定

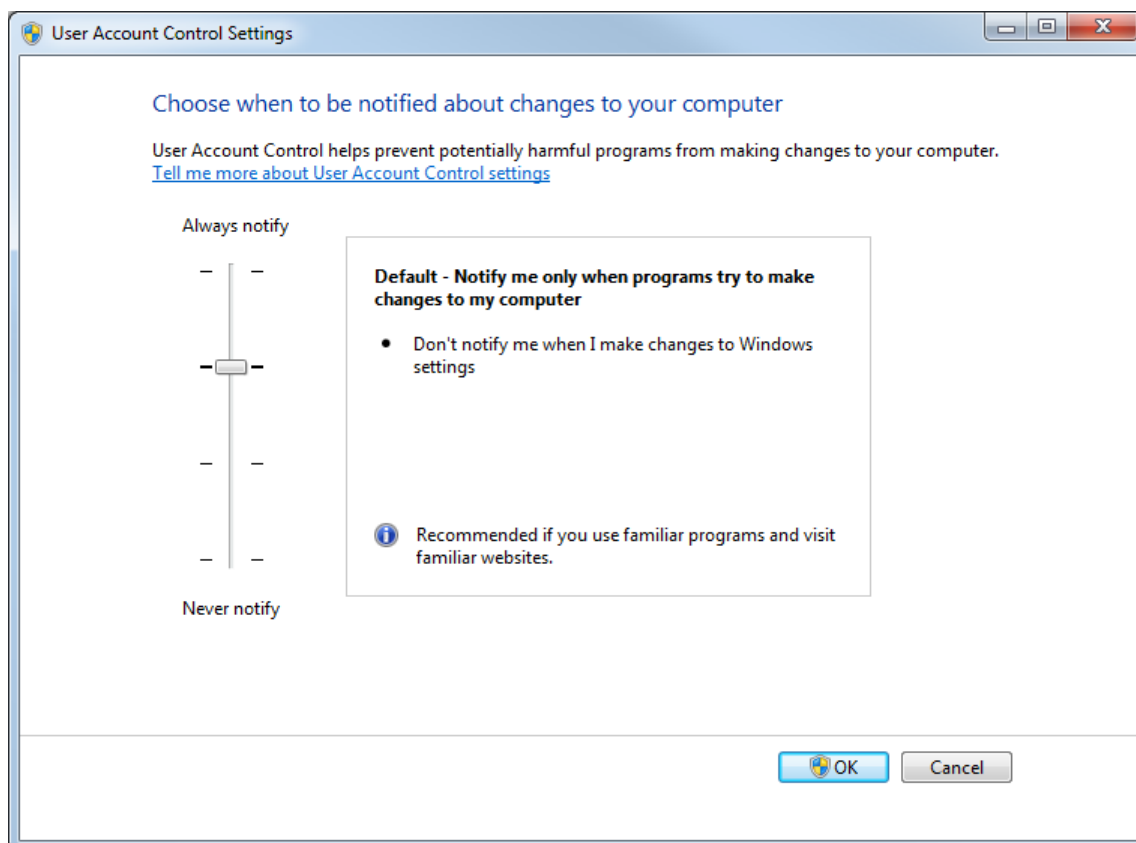
ユーザーアカウント制御の設定 (Windows 7)

Windows 7、64 ビットに SCIEX OS がインストールされている場合は、ユーザーアカウント制御のデフォルト設定を使用することをお勧めします。管理者の場合、デフォルト設定は **Default - Notify me only when programs try to make changes to my computer** です。標準ユーザーの場合は **Always notify me** です。

取得コンピュータは、デフォルトのユーザーアカウント制御設定を用いて構成されています。

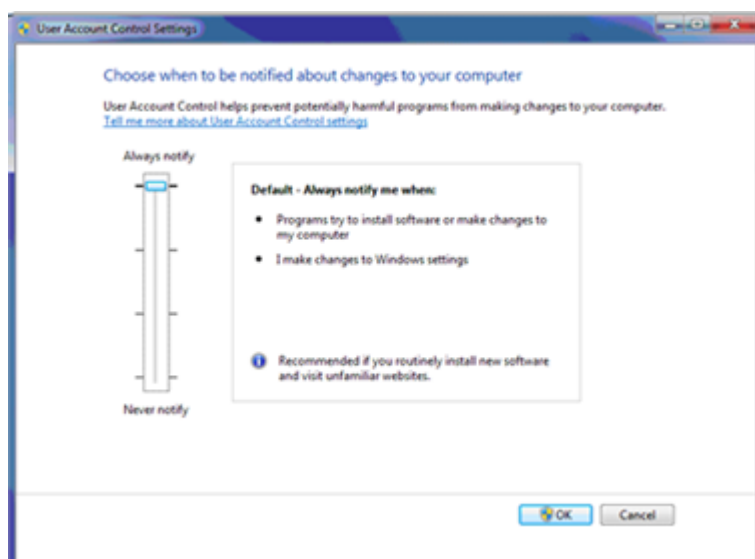
1. コントロールパネルを開きます。
2. **System and Security > Change User Account Control settings** をクリックします。
3. **User Account Control Settings** ダイアログで、スライダーバーを必要なレベルに移動します。
4. 管理者の場合は、**Default – Notify me only when programs try to make changes to my computer** を選択し、**OK** をクリックします。

図 C-1 : 管理者のユーザーアカウント制御設定



5. 標準ユーザーの場合は、**Default – Always notify me when** を選択し、**OK** をクリックします。

図 C-2 : 標準ユーザーのユーザーアカウント制御設定



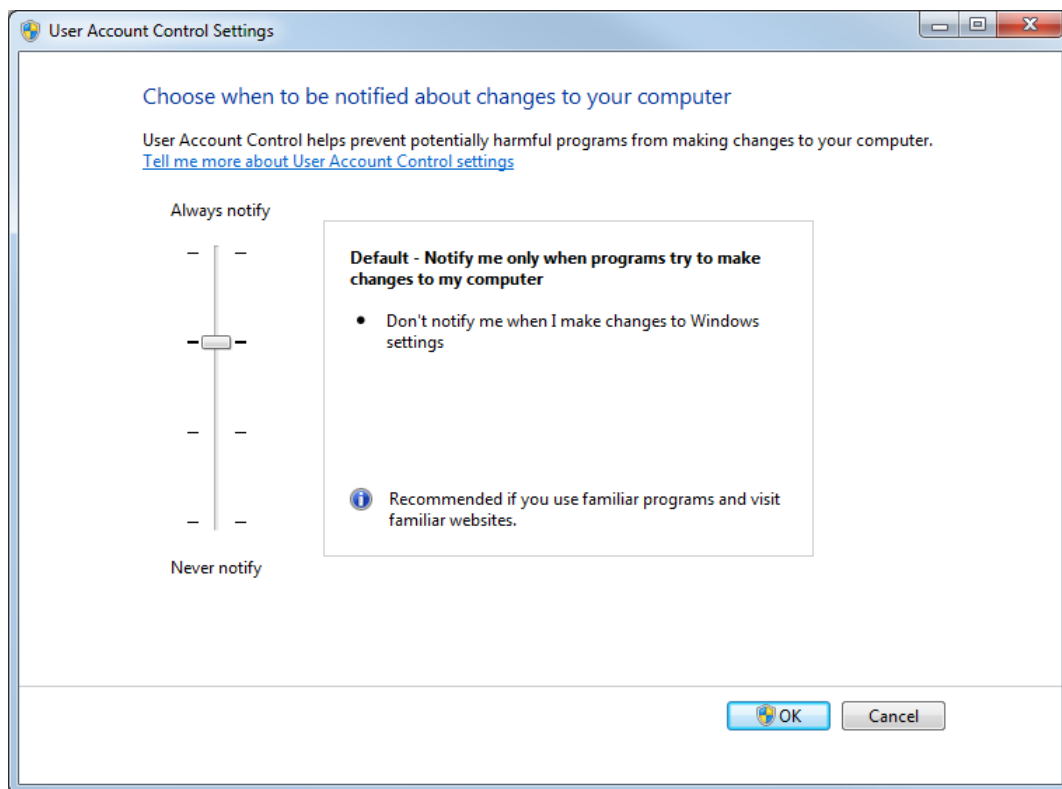
ユーザーアカウント制御の設定 (Windows 10)

SCIEX OS を Windows 10 (64 ビット) にインストールする場合、ユーザーアカウント制御はデフォルト設定のまま使用することをお勧めします。管理者の場合、デフォルト設定は **Notify me only when programs try to make changes to my computer** です。標準ユーザーの場合は **Always notify me** です。

測定用コンピュータは、デフォルトのユーザーアカウント制御設定を用いて構成されています。

1. コントロールパネルを開きます。
2. **Security and Maintenance > Change User Account Control settings** をクリックします。
3. **User Account Control Settings** ダイアログで、スライダーバーを必要なレベルに移動します。
4. 管理者の場合は、**Notify me only when programs try to make changes to my computer (default)** を選択し、**OK** をクリックします。

図 C-3 : 管理者のユーザーアカウント制御設定



5. 標準ユーザーの場合は、**Always notify me when** を選択し、**OK** をクリックします。

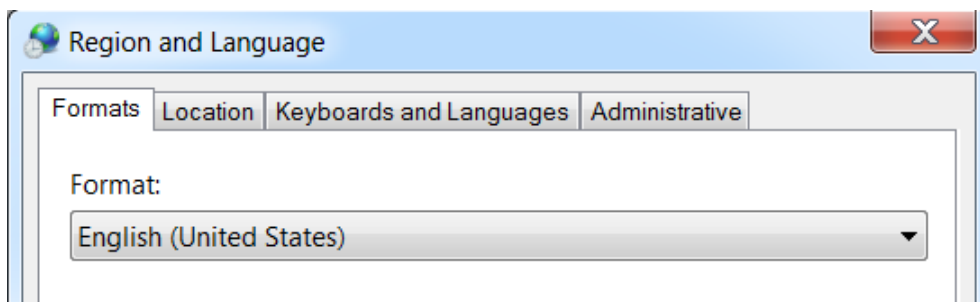
地域と言語設定

地域と言語の設定 (Windows 7)

注: **Format** フィールドと **Default input language** フィールドを異なる値に設定すると、ソフトウェアがファイル情報または監査証跡情報を誤って表示する可能性があります。

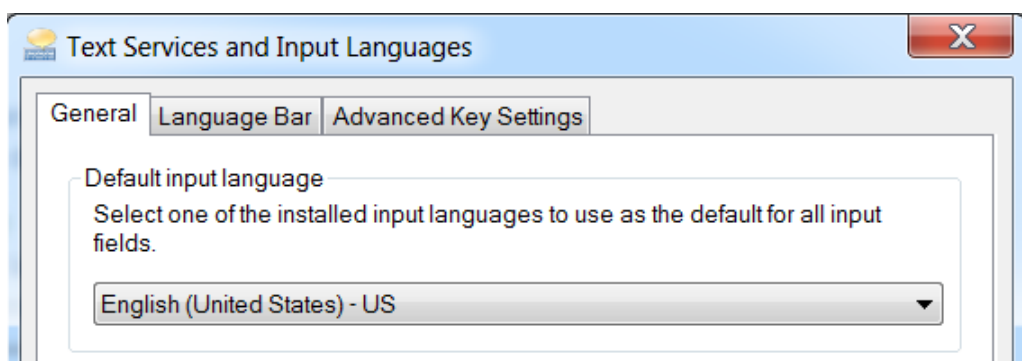
- Region and Language コントロールパネルを設定します。
 1. **Format** フィールドを英語(米国)、フランス語(フランス)、ドイツ語(ドイツ)に設定します。

図 C-4 : Region and Language ダイアログ : Windows 7 オペレーティングシステム



2. Keyboards and Languages タブをクリックし、**Change Keyboards** をクリックします。
 3. **Apply** をクリックします。
 4. **OK** をクリックします。
- コントロールパネルの Text Services and Input Languages を設定します。
 1. General タブで、デフォルトの入力言語として **English (United States) - US** を選択します。

図 C-5 : Text Services and Input Languages ダイアログ - Windows 7 オペレーティングシステム



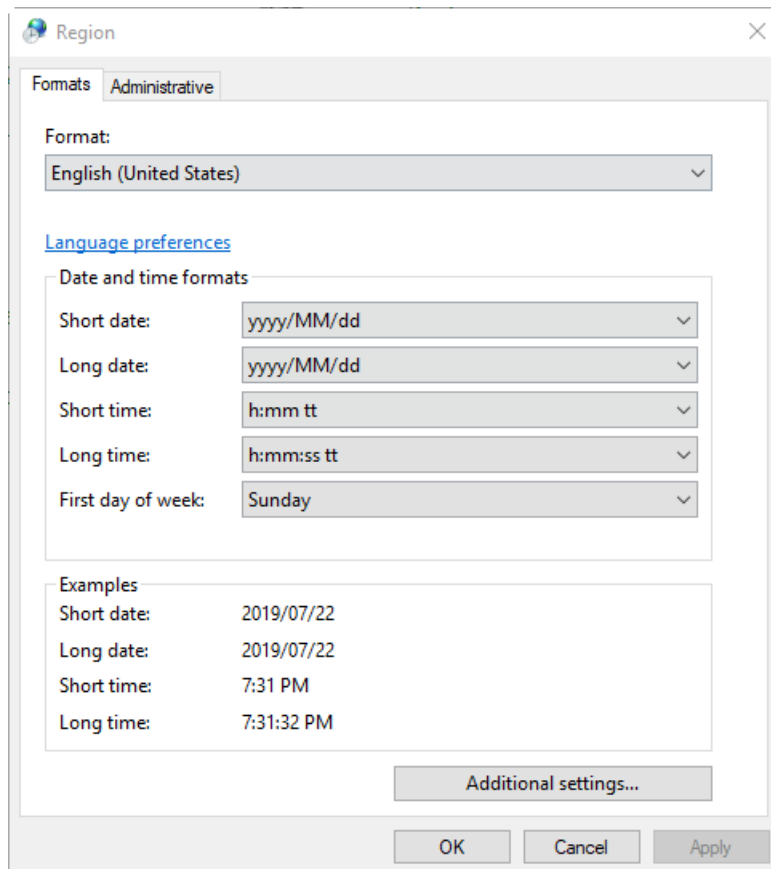
2. **Apply** をクリックします。
3. **OK** をクリックします。

地域の設定 (Windows 10)

注: **Format** フィールドを別の値に設定すると、ソフトウェアではファイル情報または監査証跡情報が不適切に表示される可能性があります。

1. コントロールパネルを開きます。
2. **Region** をクリックします。

図 C-6 : [地域]ダイアログ



3. **Format** フィールドが英語(米国)、フランス語(フランス)、またはドイツ語(ドイツ)に設定されていることを確認してください。
4. **Apply** をクリックします。
5. **OK** をクリックします。

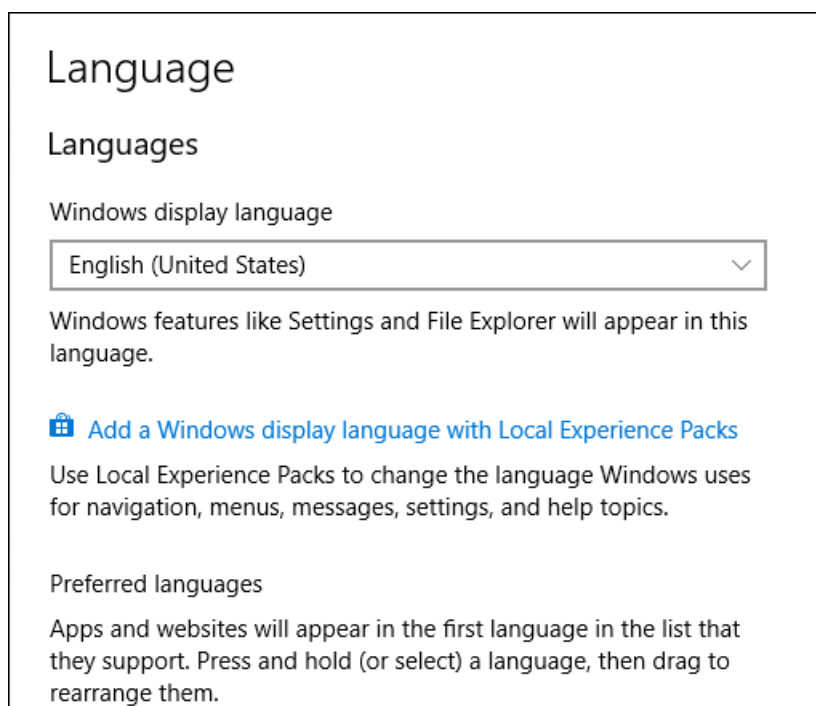
言語の設定 (Windows 10)

注: **Windows display language** を別の値に設定すると、ソフトウェアではファイル情報または監査証跡情報が不適切に表示される可能性があります。

1. コントロールパネルを開きます。

2. **Region** をクリックします。
3. **Language preferences** をクリックします。

図 C-7 : 言語ダイアログ: Windows 10 オペレーティングシステム

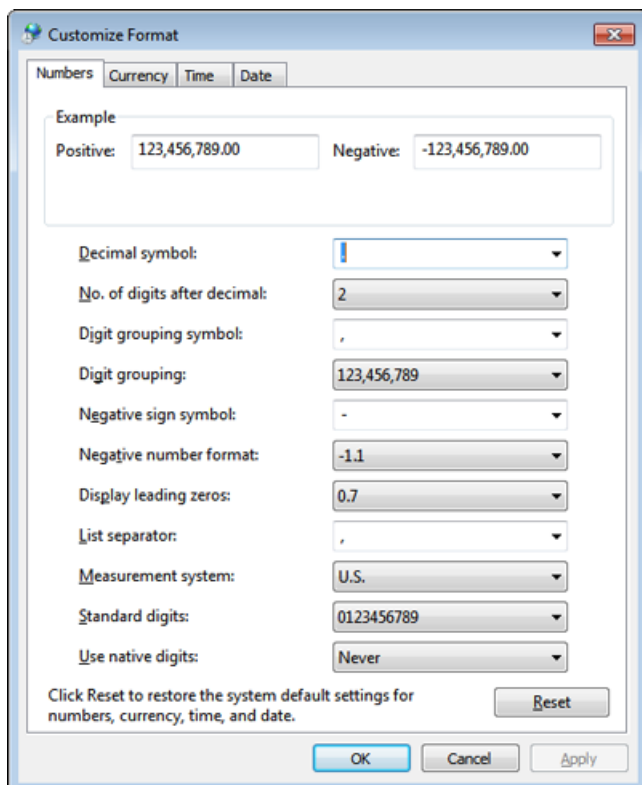


4. **Windows display language** には、**English (United States)**を選択します。

ローカル設定

次の図に示すローカル設定のみがサポートされています。

図 C-8 : ローカル設定



ラベル	SCIEX OS でのサポート
Decimal symbol	「.」または「,」がサポートされています。
No. of digits after decimal	SCIEX OS の数値形式で制御されます。
Digit grouping symbol	サポートされていません。
Digit grouping	サポートされていません。
Negative sign symbol	SCIEX OS によって制御されます。
Negative number format	サポートされていません。
Display leading zeros	サポートされていません。
List separator	サポートされていません。
Measurement system	サポートされていません。
Standard digits	サポートされていません。
Use native digits	サポートされていません。

Windows ファイアウォールの構成

D

Central Administrator Console (CAC)ソフトウェアクライアントは、TCP ポート 63333 および 44144 を使用して CAC サーバーに接続します。Windows Defender がファイアウォールソフトウェア(既定)として使用されている場合に、Windows ファイアウォールポートを開くには、次のデフォルトを実行します。別のファイアウォール ソフトウェアを使用している場合は、そのソフトウェアに固有の手順を使用して、このポートを開きます。

1. Windows Defender Firewall with Advanced Security を開きます。
2. **Inbound Rules** メニューを右クリックし、**New Rule** をクリックします。
Rule Type ページが開きます。
3. **Port** を選択し、**Next** をクリックします。
Protocol and Ports ページが開きます。
4. **Specific local ports** を 63333, 44144 に設定し、**Next** をクリックします。
Action ページが開きます。
5. **Allow the connection** を選択し、**Next** をクリックします。
Profile ページが開きます。

注: **Domain**、**Private**、および **Public** プロファイルが選択されていることを確認します。

6. **Next** をクリックします。
Name ページが開きます。
7. **Name** フィールドに CAC inbound connections と入力します。
8. **Finish** をクリックします。

展開ツールを使用してソフトウェアをインストールする

E

SCIEX OS のモジュラー インストールには、この手順のコマンド ラインを使用します。展開ツールを使用してインストール ファイルの場所からサイレント モードまたはパッシブ モードのコマンドを実行することにより、ソフトウェア モジュールをインストール、変更、修復、または削除できます。

```
setup.exe {/quiet | /passive} [/install=modules] [/add=modules] [/repair=all] [/remove=modules] [/uninstall=all]
```

表 E-1 : 要素と属性

値文字列	コメント
/quiet	ユーザーの操作なしでサイレント モードでインストールを実行します。
/passive	無人モードでソフトウェアのインストールを実行します。ユーザーには進行状況バーのみが表示されます
/install=modules	ソフトウェアモジュールをインストールします。モジュール コードのリストについては、次の表を参照: 表 E-2。
/add=modules	複数のソフトウェア モジュールをインストールします。モジュール コードのリストについては、次の表を参照: 表 E-2。
/repair=all	インストールされたソフトウェア モジュールを修復します
/remove=modules	ソフトウェアモジュールをアンインストールします。モジュール コードのリストについては、次の表を参照: 表 E-2。
/uninstall=all	SCIEX OS をアンインストールします

表 E-2 : ソフトウェアモジュール。

コード	ソフトウェアモジュール。
AG	Agilent
AN	分析(処理)
AQ	取得
CAC	Central Administrator Console (CAC)(管理)
EC	Echo® MS
EX	ExionLC
MP	Molecule Profiler (開始)
SH	Shimadzu

展開ツールを使用してソフトウェアをインストールする

例: サイレントインストールコマンド

```
Setup.exe /quiet /Install=MP
```

例: サイレント追加および削除コマンド

```
Setup.exe /quiet /Add=AQ,AG,SH,AN /Remove=MP
```

例: サイレント修復コマンド

```
Setup.exe /quiet /Repair=all
```

例: サイレントアンインストールコマンド

```
Setup.exe /quiet /Uninstall=all
```

例: パッシブインストールコマンド

```
Setup.exe /passive /Install=MP
```

例: パッシブ追加および削除コマンド

```
Setup.exe /passive /Add=AQ,AG,SH,AN /Remove=MP
```

例: パッシブ修復コマンド

```
Setup.exe /passive /Repair=all
```

例: パッシブアンインストールコマンド

```
Setup.exe /passive /Uninstall=all
```

SCIEX OS と共にインストールされるソフトウェアガイドのリストについては、次を参照: [表 F-1](#)。これらのガイドには、次の場所からアクセスできます。

- (Windows 10 オペレーティングシステム) **Start > SCIEX OS**
- (Windows 7 オペレーティングシステム) **Start > All Programs > SCIEX OS**

ソフトウェアガイドとチュートリアルは「<drive>:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS\Documentation\」にインストールされています。

表 F-1 : ソフトウェアドキュメント

文書	説明
ソフトウェアインストールガイド	ソフトウェアのインストール方法について説明しています。
リリースノート	新機能とソフトウェアに関する問題が記載されています。
ソフトウェアユーザーガイド	SCIEX OS のセットアップ、メソッドの作成、サンプルの測定、データの分析に関する手順が示されています。
ラボ管理者ガイド	SCIEX OS のセキュリティおよび監査機能について説明します。
ヘルプシステム	SCIEX OS のセットアップ、メソッドの作成、サンプルの測定、データの分析に関する手順が示されています。

ハードウェアガイドは、システムとイオン源の *Customer Reference DVD* 上でも配布されています。次の表に、これらのガイドを示します。

表 F-2 : ハードウェア文書

文書	説明
システムユーザーガイド	質量分析装置の操作やメンテナンス、SCIEX OS の使用に関する情報が記載されています。
有資格保守要員ガイド	質量分析装置のクリーニングとメンテナンス手順について示されています。 注: 本ガイドの手順を実行できるのは、有資格者のみです。
装置セットアップガイド	周辺装置をコンピュータや機器に接続する手順が示されています。
設置計画概要書	設置場所の準備方法、および機器の設置に必要な資料について説明します。

表 F-2 : ハードウェア文書 (続き)

文書	説明
<i>Turbo V</i> イオン源オペレータガイド	(X500 QTOF および ZenoTOF システム)イオン源の取り付け手順について説明します。
<i>IonDrive Turbo V</i> イオン源オペレータガイド	イオン源の取り付け手順について説明します。
<i>OptiFlow Turbo V</i> イオン源オペレータガイド	(ZenoTOF システム)イオン源の取り付け手順について説明します。
<i>OptiFlow Pro</i> イオン源オペレータガイド	(SCIEX 7500 システム)イオン源の取り付け手順について説明します。

注: ドキュメントの最新版は SCIEX の web サイト(sciex.com/customer-documents)で入手できます。

お問い合わせ先

お客様のトレーニング

- 北米: NA.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパ: Europe.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパおよび北米以外: sciex.com/education

オンライン学習センター

- [SCIEX Now Learning Hub](#)

SCIEX サポート

SCIEX およびその代理店は、十分に訓練を受けた保守/技術専門要員を世界中に配置しています。システムまたは起こり得る技術的問題に関するご質問にお答えします。詳細な情報については、SCIEX web サイト (sciex.com) を参照するか、以下の連絡先までお問い合わせください。

- sciex.com/contact-us
- sciex.com/request-support

サイバーセキュリティ

SCIEX 製品のサイバーセキュリティに関する最新のガイダンスについては、sciex.com/productsecurity を参照してください。

ドキュメント

このバージョンのドキュメントは、以前のすべてのバージョンのドキュメントに優先します。

このドキュメントを電子的に閲覧するには Adobe Acrobat Reader が必要です。最新バージョンをダウンロードするには、<https://get.adobe.com/reader> にアクセスしてください。

ソフトウェア製品のドキュメントについては、ソフトウェアに付属のリリースノートまたはソフトウェアインストールガイドを参照してください。

ハードウェア製品のドキュメントを検索するには、システムまたはコンポーネントのドキュメント DVD を参照してください。

ドキュメントの最新版は SCIEX の web サイト (sciex.com/customer-documents) で入手できます。

注: このドキュメントの無料の印刷版を請求するには、sciex.com/contact-us までお問い合わせください。
